

日本共産党 前杉並区議会議員

X(旧Twitter)@akikocurry

子ども、暮らし、平和



野垣あきこと まちづくりカフェ

HPはコチラ



2026年3月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

杉並区議会第1回定例会

住民の暮らしを守る区政を 杉並区の来年度予算を審議

2月12日から、杉並区議会第1回定例会が開催されています。今定例会は、来年度予算を審議する重要な議会です。

岸本区政の4年間を総括、確かな前進

2月12日、山田耕平議員は会派を代表し代表質問を行いました。岸本区政が掲げてきた「対話と協働」「公共の再生」の到達点を確認し、今後、これをさらに区政運営の土台として定着させるよう求めました。

区長の答弁では「聴くオフ・ミーティング」をはじめ、気候区民会議や子どもの権利条例のワークショップ、参加型予算などが示されました。

これまでの対話の実績は44事業、実施回数468回、参加者の延べ人数は約1万8千人にのびります。実施した所管課数も延べ41課に広がり、全庁的に定着浸透しつつあります。

前・田中区政では極めて弱かった住民参加の仕組みが、区政の土台として広がることが明らかになりました。

物価高から区民生活を守る

長引く物価高のもと、光熱費や食料品の値上げが区民生活を直撃しています。

質問では、単発の支援にとどまらず、住

宅の断熱化や再エネの活用を進め、光熱費負担を継続的に軽減する対策をと求めました。

区長からは、区民生活への影響を重く受け止め、支援と構造的対策を組み合わせて取り組む考えが示されました。

国保料の大幅値上げにどう対応するか

東京都が示す納付金の増額により、来年度の国民健康保険料の大幅な引き上げが懸念されています。

質問では、値上げの構造を明らかにし、区として区民負担を抑える努力をと求めました。区長からは、負担増の影響を踏まえた対応を検討する姿勢が示され、法定外繰入によって被保険者の負担を抑える必要性が明らかになりました。さらに、国に対しては財政支援の強化と合わせ、保険料そのものの軽減策の拡充を強く求めていくとの考えが示されました。

代表質問の動画は右の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



答弁する岸本聡子区長



区立施設マネジメント計画

旧若杉小跡地の活用 パブリックコメントの結果を公表



杉並区は、区実行計画、区政経営改革実行計画、区デジタル化推進計画、区立施設マネジメント計画の一部修正案を公表し、1月5日まで、パブリックコメント（意見提出手続き）を行いました。

4つの計画の一部修正案などへの意見提出件数は46件(64項目)でした。寄せられた全ての意見と区の考え方は、右からご覧になれます。



全18頁中、6～13頁までが旧若杉小跡地に関する意見や質問でした。

消防署天沼出張所移転に多くの意見

寄せられた意見では、荻窪消防署天沼出張所を旧若杉小跡地に移転する計画に対してのものが多くありました。周辺道路が狭いことによる安全性への懸念、サイレン等

による騒音、上荻保育園が移転することでの保育環境への影響などは、昨年12月に開催された説明会でも、多くの参加者から意見が出されていました。

また、震災救援所機能について、上荻保育園と児童館・消防署天沼出張所の跡地について、体育館の活用、樹木の伐採をしないこと、敷地内でのグリーンインフラの整備についてなども寄せられています。

活用方法案は予算特別委員会で審議

旧若杉小跡地は、今回のパブリックコメントによる修正はなく、活用方法案が決定されることとなります。現在開催中の予算特別委員会で、審議される予定です。

旧若杉小跡地活用今後のスケジュール

現在、区が明らかにしているスケジュールは下記の通りで、新年度から校舎の解体が始まります。消防署天沼出張所の移転については、東京都消防庁が設計し、区の建設等工事後に建設工事を行う予定です。

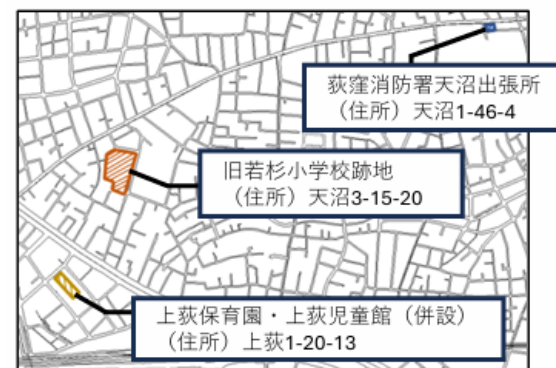
旧若杉小跡地の本格活用に関するこれまでの取り組みは、右の区HPからご覧ください。



引き続き住民のみなさんの声を届け、より良い区立施設を作るために頑張ります。

<各施設の現在地>

▶12月の説明会の資料より



旧若杉小跡地の今後のスケジュール

令和7年12月 説明会、パブリックコメント
令和8年1月(2026年)

活用方法案の決定

令和8年度～(2026年度)
既存校舎の解体設計、施設等設計
令和9年度～(2027年度)

既存校舎の解体工事、施設の建設等工事
令和13年度頃～(2031年度)
施設等の開設、都消防庁が消防署の設計工事

2030カーボンハーフ達成へ 全区民参加と全庁的推進を



2月17日の本会議で、党区議団は気候危機対策について一般質問を行いました。

「カーボンハーフ達成は最重要課題」

地球温暖化の進行は深刻さを増し、日本においても、集中豪雨の頻発、猛暑日の長期化、農業や漁業への異変などの事態を引き起こしています。

質問では、今年を含め、あと5年となった2030年カーボンハーフ(※①)達成に向けて、全区民の参画を呼びかけること、現状と目標の達成までにどれだけの努力が求められているかを明確に示すこと、区内最大の排出主体である区役所自身が全部署・全職員で目標を共有し、全庁的な推進とチェック機能を強化することなどを提案しました。

岸本区長は、「カーボンハーフ達成は区政全体の最重要課題の一つ。危機感を持って取り組む局面にある」と答弁。

国の補助制度を活用し、脱炭素アドバイザー(※②)の支援を受けながら、2030年までのロードマップを策定すると表明。

区民・事業者・区が担う役割と具体的な行動を「誰にでも分かる形」で示し、データラウンジ(※③)の活用により、温室効果

ガスの削減やごみ減量などの成果を、より見える形になるように進めていく、と答弁しました。

家庭での取組がカギを握る

カーボンハーフ達成のカギを握るのは、家庭での取り組みです。家庭での二酸化炭素排出削減のためには、①家庭での削減の重要性を理解してもらうこと、②どのような努力をしたらよいのか具体的に示すこと、③機器の買替等や推進のための支援が重要であり、これらを記載したパンフレットを作成し、各家庭に配布すべきと提案。また、再エネ・省エネ対策助成制度についても、広報を強化するよう求めました。

担当部長は、「今年度、気候区民会議の提案を受けて、再エネ導入に関するパンフレットを作成し、町会等を通じ各家庭に配布予定」と答弁。広報の強化については、「今月中に公開予定の再エネおよび省エネに関するポータルサイトの掲載内容などに工夫を重ねながら取り組んでいく」と答えました。

※① 2030カーボンハーフ
2030年までに温室効果ガスの排出量を、2000年比で50%削減(半減)する取組。

※② 脱炭素アドバイザー
環境省が「脱炭素アドバイザー資格制度認定ガイドライン」に基づいて、脱炭素に関わる民間資格を認定する制度。

※③ データラウンジ
人口統計や財政状況などの行政データを分析・共有するためのWEBサイト。「すぎなみデータラウンジ」は右→からアクセスできます。



家賃助成の対象拡大 高齢者住宅の拡充求めて一般質問

第1回定例会が行われています。2月17日の本会議で、党区議団のくすやま美紀議員は、住宅施策について質問しました。

国が5年毎に実施する「住宅・土地統計調査」の2023年の調査結果では、杉並区では、持ち家世帯約12万6千世帯に対し、民営借家世帯は約17万6千世帯と、借家世帯が大きな割合を占めています。

障害者など家賃助成の対象の拡大を

区営住宅に落選したひとり親・多子世帯を対象に、区が今年度から家賃助成制度(右下から詳細)を始めたことは貴重な前進です。



しかし、障害者や高齢者など、家賃負担に苦しむ世帯は他にも多く、その対象を拡大するよう検討を求めました。

区は、対象の拡大について、現行制度における効果を見極めながら、公平性や持続可能性も踏まえ、慎重に検討する、と答えました。

セーフティネット専用住宅

岸本区政のもとで、セーフティネット専用住宅(左上から詳細)の目標を昨年度10戸、今年度20戸へと拡大したことは貴重な前進です。しかし、必要とされ



る規模から見れば、まだまだ足りません。

制度を活用してもらう大家さんの拡大に向け、取組の強化を、と求めました。

区は、セーフティネット住宅を増やすには、大家さんの不安を取り除くことが重要、不動産関係団体の協力を得ながら、協議する場を作り、不安を取り除くための手立てを検討し増加に繋げたい、と答弁しました。

「みどりの里」の増設を求める

高齢者住宅「みどりの里」(右から詳細)は、単身24戸に238人(9.9倍)、2人世帯11戸に53世帯(4.8倍)が応募するなど、不足しています。年金より家賃が高く生活が大変な区内の70代女性の声を紹介し、戸数の増加、小規模アパートの借り上げなど、多様な手法による高齢者住宅の確保を求めました。



区は、みどりの里の新設は、用地確保や建設費の課題があり難しい、低廉な家賃で入居できるセーフティネット専用住宅の新規登録戸数を増やすため取組を進めていきたい、と答えました。

私も女性や高齢者、障害者の方々から住まいの相談を受けることが多く、制度の拡充に向けて全力をあげたいと思います。

【あきりの部屋】

天沼弁天池公園内にある郷土資料館分館で企画展「原水爆禁止署名運動への道」を観てきました。分館では「すぎなみの市民運動」として、魚屋さんが始めた原水爆禁止署名や女性たちの学習会等の歴史が取り上げられ、杉並ならではの展示。区HPや区役所2階の市民ギャラリーで展示されることもあるのですが、これが常設で展示されるといいのにな…と思っています。新年度予算案には、「平和施策に関する区民懇談会」の設置のための予算が計上されています。この懇談会で区民から提案し、声をあげることはできないだろうか？と感じました。

「しんぶん赤旗日曜版電子版」
祝 1万人突破
Thank you

付度なし、お役立ち情報も
しんぶん赤旗日曜版電子版
月々 990円

申し込みこちら